
EXCEL VBA 講座

csv 読み込み

【目次】

csv から読み込む.....	3
csv を開いてみる.....	3
csv ファイルを開いて1行ずつ最後の行まで読み込む.....	3
各セルに配分する.....	5
csv の中身の調整.....	6

CSV から読み込む

前回の練習で book を開くをやりましたが、今度は csv ファイルから読み込んでみましょう。csv ファイルはカンマで区切られたファイルで、色々なデータベースのやり取りに使用されるファイルで、汎用性が高いものです。

CSV を開いてみる

まずは他の csv を指定する方法をやってみましょう。

前回作った「openBook」を改造して「csvRead」を改造しましょう。

```
Sub csvRead()  
    Dim OpenFileName As String  
    Dim a1 As String  
  
    OpenFileName = Application.GetOpenFilename("Microsoft CSV ファイル, *.csv")  
    'ファイルを選択したら csv ファイルを開く  
    If OpenFileName = "False" Then Exit Sub
```

今回はファイル拡張子が csv で始まるファイルだけ一覧に表示しますので、それ以外のファイルは選択できません。

一覧からファイルを選択して、開くボタンを押すと選択したファイル名が OpenFileName に返ってきます。

CSV ファイルを開いて1行ずつ最後の行まで読み込む

さて、ファイルを指定することができたら、open を使ってファイルを開きます。

```
open ファイル名 For 開き方 As #ファイル番号  
    {Input/Output/Append}
```

ファイル名と開き方とファイル番号を指定します。開き方は Input が読み込み用、Output が書き込み用でポインタが先頭、Append が追加書き込み用でポインタが最後になります。そしてファイル番号は、普通は1番になりますが、場合によって使用済の場合があるので FreeFile 関数で空き番号を取得して使います。この番号はその後の読み込み、書き込み、クローズで使うので大事です。また番号の前に#を付けるのを忘れないでください。

```
Dim FN As Integer
```

```
Dim lineNo As Integer
```

```
FN = FreeFile
```

```
lineNo = 0
```

```
Open OpenFileName For Input As #FN
```

開いたファイルはポインタが先頭になっています。ここから Line Input で1行ずつ読み込んで最後まで読み込んだらクローズする流れを実験しましょう。

```
Do Until EOF(FN)
```

```
Line Input #FN, strRead
```

```
lineNo = lineNo + 1
```

```
Cells(lineNo, 1).Value = strRead
```

```
Loop
```

```
Close #FN
```

こんな風に読み込みができます。

	コード	アドイン	コントロール	XML	変更						
	A1										
1	1	平良裕仁	ヒラヨシヒロヒト	男	0991056483	hirohito82959@yjsfb.mrvr.mw	891-2127	鹿児島県	垂水市	下宮町	3-1-1
2	2	佐藤俊文	サトウトシフミ	男	0993933518	isato u@nqrivhpioz.apn	899-1801	鹿児島県	薩摩川内市	西方町	3-1-1
3	3	辻本忠義	ツジモトタダヨシ	男	0995616760	w=zkcrcpztadayoshi7903@uwxiv.cj	897-0007	鹿児島県	南さつま市	南さつま	1-1-1
4	4	合田正美	アイダマサミ	女	0999336931	masamiaida@kpar.uvx	894-0771	鹿児島県	奄美市	名瀬小湊	1-2-1
5	5	宮川浩之	ミヤカワヒロユキ	男	0995320733	hiroyuki7941@aakhyyp.xo.q	890-0055	鹿児島県	鹿児島市	上荒田	1-1-1
6	6	新倉健治	ニクハラケンヂ	男	0993540000	kenji@nkcw.com	894-0004	鹿児島県	本荘市	笠利町	1-1-1

各セルに配分する

A 列にすべてのデータを貼り付けましたが、これを各セルに割り振ってみましょう。

csv ファイルはカンマで句切られています。VBA ではそのような文字列を split()関数で分割することができます。そして、その分割したものを for ループで回しながら各セルに貼り付けていきましょう。

```
Do Until EOF(FN)
    Line Input #FN, strRead
    spData = Split(strRead, ",")
    lineNo = lineNo + 1
    For i = 1 To UBound(spData) + 1
        Cells(lineNo, i).Value = spData(i - 1)
    Next
Loop
```

Do Until で EOF を見えています。これは End Of File のチェックで、EOF でない間は False で、EOF になった時にループが終わります。

そしてループの中では Line Input で改行までの 1 行をそのまま読み込んで strRead 文字列の中に詰め込んでいます。

Split を使ってその文字列をカンマで区切って、各配列に分解します。

そして UBound でその個数がわかりますから、その回数分ループしながら、各配列を同じ行のセルに貼り付けていきます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	1	"平良裕仁"	"ヒラヨシヒ"	"男"	"099105648"	"hirohito82"	"891-2127"	"鹿児島県"	"垂水市"	"下宮町"	"1-20-18"		1967/8/28
2	2	"佐藤俊文"	"サトウシ"	"男"	"099393351"	isatou@nc	"899-1801"	"鹿児島県"	"薩摩川内"	"西方町"	"3-15-6"	"西方町テ"	1983/6/16
3	3	"辻本忠義"	"ツジモト"	"男"	"099561676"	w=zkcrrq"	"897-0007"	"鹿児島県"	"南さつま市"	"加世田白"	"3-5-16"		1959/6/23
4	4	"合田正美"	"アイダマヒ"	"女"	"099933693"	masami@ic	"894-0771"	"鹿児島県"	"奄美市"	"名瀬小湊"	"1-2"	"名瀬小湊"	1983/6/22
5	5	"宮川浩之"	"ミヤカワヒ"	"男"	"099532073"	hiroyuki7"	"890-0055"	"鹿児島県"	"鹿児島市"	"上荒田町"	"2-12-3"		1957/1/16
6	6	"新倉健次"	"ニクラケ"	"男"	"099825488"	kenji_niiku	"894-0501"	"鹿児島県"	"奄美市"	"笠利町宇"	"1-2-18"		1950/12/14
7	7	"大木千秋"	"オオキチウ"	"女"	"098636853"	chiaki051"	"893-2302"	"鹿児島県"	"肝属郡錦"	"城元"	"3-8"	"城元アバ"	1968/9/25
8	8	"上桑宏之"	"カミショウヒ"	"男"	"099399152"	hirovuki4"	"899-1612"	"鹿児島県"	"阿久根市"	"新町"	"4-3-13"		1967/2/26

これで csv の各列が各セルに分解できるようになりました。

csv の中身の調整

しかし、このままだと、各セルの値の両端にダブルクォートがついてしまっています。これを外すには、replace()関数を使います。replace は指定した文字列を変換します。

```
spData = Split(Replace(strRead, """, ""), ",")
```

ところが、これをやってしまうと、型が変わってこんなふうになってしまいます。

D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
	991056483	hirohito828891-2127		鹿児島県	垂水市	下宮町	2018/1/20		1967/8/28 0:00
	993933518	isatou@nqr 899-1801		鹿児島県	薩摩川内市	西方町	2006/3/15	西方町テラ	1983/6/16 0:00
	995616760	w=zkcrcqzt897-0007		鹿児島県	南さつま市	加世田白倉	2016/3/5		1959/6/23 0:00
	999336931	masamiaida894-0771		鹿児島県	奄美市	名瀬小湊	1月2日	名瀬小湊庫	1983/6/22 0:00
	995320733	hiroyuki794890-0055		鹿児島県	鹿児島市	上荒田町	2003/2/12		1957/1/16 0:00
	999254999	hoshino894-0504		鹿児島県	奄美市	笠利町宇野	2018/1/20		1950/12/14 0:00

まず、E列です。前は頭に0が付いていましたが、それが外れています。これは数値として読み込んでしまったので、無駄な0が消えてしまっているわけです。しかし、これは電話番号ですから0は必要です。そこで文字として読み込みます。

次にK列です。日付になってしまっています。これは英語フォーマットの日付と勘違いしてしまったようです。そこでこの列は文字列として認識してもらいます。

次にM列です。これは時刻の0:00が残ってしまっています。これはフォーマットで年月日にします。

```
Do Until EOF(FN)
```

```
Line Input #FN, strRead
```

```
spData = Split(Replace(strRead, """, ""), ",")
```

```
lineNo = lineNo + 1
```

```
For i = 1 To UBound(spData) + 1
```

```
Select Case (i)
```

```
Case 5, 7, 11: '番地などを文字として
```

```
Cells(lineNo, i).NumberFormatLocal = "@"
```

```
Case 13: '時間
```

```
Cells(lineNo, i).NumberFormatLocal = "yyyy/m/d"
```

```
End Select
```

```
Cells(lineNo, i).Value = spData(i - 1)
```

```
Next
```

```
Loop
```